



**茅野市の豊かな生態系を守るために
特定外来生物(オオハンゴンソウ)駆除活動**

6月18日、尖石縄文考古館周辺で特定外来生物に指定されているオオハンゴンソウの駆除作業が行われました。考古館ボランティア、美サイクル茅野、こども自然探検隊などから約30名が参加し、合計250kgのオオハンゴンソウを駆除しました。参加者は、子どもの背丈程にまで成長したオオハンゴンソウを力強く引き抜いていました。

オオハンゴンソウは市内で多く確認されています。庭先などで見かけた場合には、駆除にご協力ください。



**選挙への関心を高める
茅野高校 選挙出前授業**

6月16日、茅野高校で県選挙管理委員会の「選挙出前授業」を活用した模擬投票が行われ、2年生65人が参加しました。生徒は、投票の方法や注意点などの説明を受けた後、選挙で実際に使用される投票用紙や投票箱などを使って、選挙の一連の流れを体験しました。投票後には開票を行い、各候補者の得票数と当選者を発表しました。参加した生徒は「来年から選挙権を持つので、今日の経験を生かして積極的に選挙に行きたい。」と話しました。



**里山を身近に感じる体験
米沢小学校 どんぐり植え&木工体験**

6月2日、米沢小学校で市民の森を創る会の出前講座が行われ、5年生37人がどんぐり植えと木工体験をしました。会員からイラストを使ったどんぐりの成長過程についての説明を受けた後、3人ほどのグループに分かれて、計12基のプランターにどんぐりを植えました。深さの目印が書かれた棒を使って、丁寧にどんぐりを植えました。どんぐり植え後には、白樺や桜の剪定木にやすりをかけて木製のコースターを作成しました。晴天の中、里山を身近に感じる体験を満喫しました。



**1年生に絵本のプレゼント
湖東小学校 セカンドブック手渡し会**

6月1日、湖東小学校でセカンドブック手渡し会が行われました。セカンドブックプレゼントは、茅野市内のすべての小学1年生に本を1冊贈る活動です。

読りむちのメンバーが手渡しで、児童一人ひとりに本と「茅野市の方言かるた」のしおり(同メンバー作製)などが贈られ、子どもたちは喜んで受け取っていました。その後、保護者の方に受け取った本を読み聞かせしてもらい、うれしそうに聞く姿や絵を指さしながら話そう姿が見られました。



**入館者100万人を祝う
尖石縄文考古館記念セレモニー**

6月24日、尖石縄文考古館の入館者が100万人を達成し、記念セレモニーが開催されました。100万人目の入館者となったのは、湖東小学校2年1組の児童30人で、市から国宝土偶である「縄文のビーナス」と「仮面の女神」のレプリカ2体、オリジナルトートバッグなどの記念品が贈られました。

記念セレモニーでは、今井市長と山田教育長、湖東小学校2年1組の代表3名によるくす玉割りも行われ、盛大に入館者100万人達成を祝いました。



**地域の社会課題解決に貢献するために
株式会社キッツ 企業版ふるさと納税**

6月23日、茅野市に生産拠点を持つ世界有数のバルブメーカーの株式会社キッツが地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)を活用して、茅野市に2000万円を寄付しました。

寄付金のうち1650万円は、産学官連携による人材育成の新規事業に活用します。残りの350万円は、日本陸上競技連盟第3種公認更新に向けた茅野市運動公園陸上競技場の改修工事などに活用します。



**小平奈緒選手から球根をお福分け
ユリの新品種「kodaira」贈呈式**

6月2日、小平奈緒選手の母、光子さんが市役所を訪れ、小平奈緒選手がオランダ大使館から贈呈されたオランダのユリの新品種「kodaira」の球根を市内の保育園、小学校、中学校、高等学校にお福分けしました。

小平奈緒選手からは「皆さまの元で「kodaira」が大きく花開き、心が晴れやかになることを願っています。」とメッセージをいただきました。光子さんからは「学校に行った時、「kodaira」が毎日成長していく様子を楽しんでいただけたら」とコメントをいただきました。

贈呈された「kodaira」は園児や児童、生徒によって丁寧に植えられました。夏ごろには鮮やかなオレンジ色の花を咲かせるということで、開花をとても楽しみにしている様子が見られました。

